

オーガニック・エコ農産物安定供給体制構築事業のうち
オーガニックビジネス実践拠点づくり事業に関する事業評価票

都道府県名 市町村名	北海道	北海道	
事業実施主体名	大空町有機農業推進協議会	豊浦町オーガニック・エコ農産物推進協議会	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討会の開催 ・ 実証圃の設置 ・ 栽培技術・経営力等研修会の実施 ・ 有機農業者・実需者等との意見交換会 ・ 南瓜、馬鈴薯の規格外の有機農産物加工食品の試作品開発 などを実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討会の開催 ・ 実証圃の開設 ・ 栽培技術・経営力向上等の現地指導の実施 ・ 栽培技術・経営力等研修会の実施 ・ 東京エリアの飲食店や宿泊施設へ有機農産物の需要の訪問調査 などを実施。	
成果目標の 具体的内容	有機農業の取組面積の増加	有機農業の取組面積の増加	
成果 目標 の 達成 状況	基準年 (平成 29 年)	40.6ha	0.1ha
	目標年 (令和 3 年)	51.6ha	0.405ha
	目標値	46ha	0.4ha
	達成率	203%	101%
農産局長の意見	成果目標を達成している。	成果目標を達成している。	

農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうち
国際認証取得拡大緊急支援事業（有機JAS認証等取得等支援事業）
に関する事業評価票

都道府県名 市町村名		北海道 帯広市	神奈川県 平塚市
事業実施主体名		北海道オーガニックビーフ 振興協議会	湘南オーガニック 協議会
事業の概要		有機JAS認証取得（1社） 輸出戦略検討会（4回） 商談会（3回） 栽培技術力強化講習会等	有機JAS認証取得（2人） 輸出戦略検討会（1回） 商談（3回）
成果目標の 具体的内容		新たに牛肉を輸出	新たにラオス・タイ・シンガポ ールへ薩摩芋や野菜を輸出
成果 目標 の 達成 状況	基準年度 （平成28年度）	—	— —
	目標年度 （令和3年度）	0 kg	0 kg 0 千円
	目標値	150 kg	3,000 kg 900 千円
	達成率	0%	0%
農林水産省 農産局長 の意見		新型コロナウイルス感染拡大により、輸出施設の有機JAS認証取得のための体制が整備できず、また、輸出予定であったベトナムの焼肉店のオープンが中止となったため、成果目標は達成されていない。成果目標の達成に向け、コロナ禍からの経済回復の状況を踏まえた改善計画の作成を求める。	新型コロナウイルス感染拡大により、現地商談に行くことができず、輸出、成果目標は達成されていない。成果目標の達成に向け、コロナ禍からの経済回復の状況を踏まえた改善計画の作成を求める。

都道府県名 市町村名		神奈川県 愛甲郡愛川町	愛知県 名古屋市
事業実施主体名		NO-RA	飯田農園
事業の概要		有機 JAS 認証の取得 (1 人) 商談 (3 回)	有機 JAS 認証の取得 (1 人) 商談 (1 回) 商品開発 (トマトジュース、ト マト酢)
成果目標の 具体的内容		新たにラオス・タイ・シンガ ポールへ薩摩芋や野菜を輸 出	ミニトマト・トマトジュース・ トマト酢の輸出拡大
成果 目標 の 達成 状況	基準年度 (平成 28 年度)	— —	89 kg 351 千円
	目標年度 (令和 3 年度)	0 kg 0 千円	218 kg 816 千円
	目標値	3, 000 kg 900 千円	880 kg 3, 300 千円
	達成率	0% 0%	15. 7% 15. 8%
農林水産省 農産局長 の意見		シンガポール、タイに輸出し ている事業者と商談を進め たものの、新型コロナウイルス 感染拡大により、取引に至 らなかったことから成果目 標は達成されていない。 成果目標の達成に向け、コロ ナ禍からの経済回復の状況 を踏まえた改善計画の作成 を求める。	中国へトマトジュースの輸出を 開始したものの、新型コロナウ イルスの感染拡大の影響により 商談会が中止されたことや、担 当者が交通事故にあった影響で 海外での商談に参加できなくな るなど、販路拡大の一部取り組 むことができなかったため、成 果目標は達成されていない。 成果目標の達成に向け、コロ ナ禍からの経済回復の状況を踏 まえた改善計画の作成を求める。

都道府県名 市町村名		滋賀県 東近江市	兵庫県 三田市
事業実施主体名		有限会社 永源寺マルベリー	株式会社 GreenMind
事業の概要		有機 JAS 認証の取得（1 者）	有機 JAS 認証の取得（1 者） 商談（1 回）
成果目標の 具体的内容		新たにフランスへ桑粉末及び 明日葉粉末を輸出	新たにアメリカへベビーフー ドを輸出
成果 目標 の 達成 状況	基準年度 (平成 28 年度)	—	—
	目標年度 (令和 3 年度)	315.5 千円	0 千円
	目標値	5,500 千円	325 千円
	達成率	5.7%	0%
農林水産省 農産局長 の意見		新型コロナウイルス感染拡大により、展示会等の中止による営業機会の損失や、既存輸出先の需要の低下による取引の減少により、成果目標は達成されていない。 成果目標の達成に向け、コロナ禍からの経済回復の状況を踏まえた改善計画の作成を求める。	アメリカ向けにベビーフードの輸出を開始したが(R1:7,776 円)、新型コロナウイルス感染拡大により、目標年(R3)にはアメリカへの輸出を中止せざるを得なかったため、成果目標は達成されていない。 成果目標の達成に向け、コロナ禍からの経済回復の状況を踏まえた改善計画の作成を求める。

都道府県名 市町村名		広島県 尾道市	山口県 岩国市
事業実施主体名		イトク食品 株式会社	高村農園
事業の概要		有機 JAS 認証の取得（1 者）	有機 JAS 認証の取得（2 人） 商談（1 回） 機械のリース導入（色彩選別機）
成果目標の 具体的内容		蒸し生姜・シロップ等の輸出 拡大	新たにクウェートに米を輸出
成果 目標 の 達成 状況	基準年度 (平成 28 年度)	210,160 円	—
	目標年度 (令和 3 年度)	0 kg	0kg
	目標値	1,000 千円	10,000kg
	達成率	−26.6%	0%
農林水産省 農産局長 の意見		<p>新型コロナウイルス感染拡大により、輸出先が食品の取扱いを中止したことや、商談の中止により新たな取引先の確保ができず、成果目標は達成されていない。</p> <p>成果目標の達成に向け、コロナ禍からの経済回復の状況を踏まえた改善計画の作成を求める。</p>	<p>西日本豪雨災害以後圃場環境が悪化し、有機 JAS 認証を取得できなかった。また、新型コロナウイルスの感染拡大により、バイヤーとの商談ができなかったことから、成果目標は達成されていない。</p> <p>成果目標の達成に向け、コロナ禍からの経済回復の状況を踏まえた改善計画の作成を求める。</p>

都道府県名 市町村名		高知県 長岡郡本山町	熊本県 合志市	
事業実施主体名		株式会社 山下農園	青紫蘇農場 株式会社	
事業の概要		有機 JAS 認証の取得（2人） 商談（2回） 栽培技術講習会（2回）	有機 JAS 認証の取得（1者） 商談（4回） 商品開発（めん類）	
成果目標の 具体的内容		新たにラオス、シンガポール、 タイに薩摩芋及び人参を輸出	新たに台湾、ミャンマー、イギ リス、ドイツに紫蘇ドリンク・ 紫蘇めん類を輸出 (1) 紫蘇製品の新たな輸出 (2) 既存輸出品輸出量拡大	
成果 目標 の 達成 状況	基準年度 (平成 28 年度)	—	(1) — —	(2) 665 kg 1,414,240 円
	目標年度 (令和 3 年度)	0kg	91 kg 151,400 円	469kg 123,870 円
	目標値	3,000kg	1,770kg 1,827,200 円	720 kg 1,547,000 円
	達成率	0%	5.1% 8.3%	—356% —158.5%
農林水産省 農産局長 の意見		有機 JAS 認証を取得したほ場 を管理する農場長の退職と後 任者不在により、有機 JAS 認 証が継続できず、新型コロナ ウイルス感染拡大により、輸 出に向けた検討が進まなかっ たため、成果目標は達成され ていない。 成果目標の達成に向け、コロ ナ禍からの経済回復の状況を 踏まえた改善計画の作成を求 める。	新型コロナウイルス感染拡大に より、輸出先国での輸送路停止 や製品減産により、需要が減少 したことから、成果目標は達成 されていない。 成果目標の達成に向け、コロ ナ禍からの経済回復の状況を 踏まえた改善計画の作成を求 める。	

都道府県名 市町村名		鹿児島県 鹿児島市
事業実施主体名		有限会社 かごしま有機生産組合
事業の概要		有機 JAS 認証の取得（7人） 商談（6回） 商品開発（レトルトスムージー） 機械リース導入（高速裏ごし機）
成果目標の 具体的内容		新たにマカオ、香港、UAE に 人参ジュース・ごぼう茶・ベ ビーフードを輸出
成果 目標 の 達成 状況	基準年度 (平成 28 年度)	—
	目標年度 (令和 3 年度)	269, 490 円
	目標値	1, 000, 000 円
	達成率	26. 9%
農林水産省 農産局長 の意見		新型コロナウイルス感染拡大により、飛行機運賃、船運賃値上がりで価格が高騰したことから、成果目標は達成されていない。 成果目標の達成に向け、コロナ禍からの経済回復の状況を踏まえた改善計画の作成を求める。